

## “皆さまの声”は、横浜市議員 望月高德が承ります!

### ■ 望月こうとく政務活動事務所

〒224-0003 都筑区中川中央 1-24-17-2F  
(市営地下鉄センター北駅1番口よりノースポート側すぐ)

TEL&FAX: 045-532-9089  
E-mail: info@khotoku.net  
http://www.khotoku.net/



### 【当レポート発行者プロフィール】

横浜市議員(都筑区選出)望月高德(もちづきこうとく)。静岡県出身。1989年4月より横浜市在住。早稲田大学政治経済学部政治学科卒。(株)野村総合研究所社員、学習塾経営、専門学校講師などを経て、2011年4月より現職(2期目)。2018年度担当委員会は、政策・総務・財政常任委員会、減災対策推進特別委員会、神奈川県内広域水道企業団議会議員、民権フォーラム市議員団(立憲民主党)所属。政治を志した原点は、学生時代の新聞奨学生体験。政治信条は、公正・共生・寛容。



# 望月こうとく市政レポート みんなの声の広場

第32号  
2019年3月20日  
発行



http://www.khotoku.net/ TEL&FAX: 045-532-9089  
E-mail: info@khotoku.net

キリトリ ✂

“皆さまの声”を気軽にお寄せください。ご記入日/2019年 月 日

横浜市政や区政、あるいは政治全般について、お気付きの点やご意見があれば教えてください。ご意見は、上記FAX番号へ送信または上記住所へご郵送くださるようお願いいたします。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

(ふりがな)	年齢	性別
ご記入者 氏名	歳	男・女
ご記入者 住所		
ご連絡先 電話番号 ( )	Email @	

※以上の項目は、すべて任意です。可能な項目のみご記入をお願いいたします。 ※お寄せいただいた個人情報は、適正に管理いたします。  
※ご連絡先のご記入のある方には、望月から回答のためご連絡を差し上げたり、市政報告会などのご案内をさせていただきます。

キリトリ ✂

## Topic

# 市長に2019年度予算を問う!

## 市民の生命と財産を守る防災対策から、地域交通の確保、カジノに頼らない街づくり、中学校給食の実現に向けて 他

2019年度予算(案)が、約2カ月間にわたって開催された平成31年第1回定例会で、審査・議決され3月19日(火)に成立しました。

本市の年間当初予算額は、一般会計が約1兆7千6百億円です。特別会計〔国民健康保険事業費や介護保険事業費など〕や公営企業会計〔水道事業費や地下鉄事業費など〕を合わせると総額約3兆7千億円強となります。これは昨年度に比べて、約1千1百億円の増。本市人口から逆算すると、**市民一人当たり約1百万円**ということになります。

一般会計に限って見ると、子育てや教育に32.0%、福祉や保健や医療に26.5%、道路・住宅・計画的な街づくりに10.0%、その他に31.5%の予算が使われます。**また過去の借金返済のために約1千8百40億円(一般会計の10.4%)が充てられる予定**です。

私は、2月21日(木)に本会議に登壇し、市民の生活に直結する予算審査に関連して、本市の防災対策から始めて、新たな劇場整備とカジノの問題、中学校給食実現に向けての市長の考え、市営地下鉄3号線〔ブルーライン〕の延伸事業や、高齢化社会における地域

交通確保の課題、児童虐待対策、あるいは大切なインフラ施設である上下水道の話など、11分野に対する新年度予算の取り組みや、今後の市長の取り組みの考えを、質疑いたしました。以下に、そのご報告をします。



▲2月21日 本会議予算関連質疑より

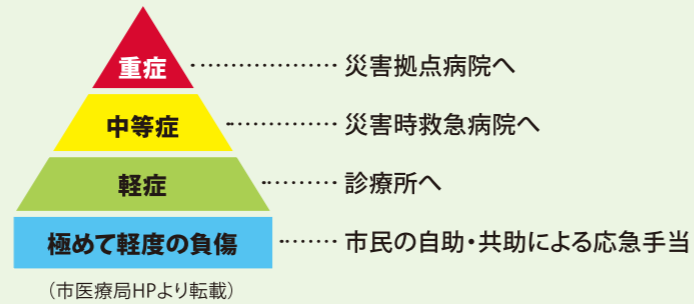


## 予測不能な大規模自然災害に備える

政治の最大の役目のひとつは、市民の生命や財産を守ることです。私は、これまでの8年間の議会活動において、大地震対策や火山噴火に伴う降灰対策あるいは近年、日本各地で頻発している大雨やゲリラ豪雨災害対策を含む、あらゆる大規模自然災害への本市の備えを強め、いざという時に少しでも被害の最小化につながるよう、当局に防災・減災対策の充実・強化を事ある毎に求めてきました。現任期での市長への最後の直接質問の場となった、同日の本会議質疑でも、まず最初に問うたのが、本市の防災対策についてです。

これまで何度も議会で取り上げてきた災害拠点病院や災害時救急病院の耐震性確保の問題。地震災害時に緊急自動車などの交通を確実に確保しなければいけない重要道路の課題。

本市の防災計画は、今後、元禄型大地震に見舞われ



た場合に、3千人を超える死者が出ると予想されていますが、そうしたことが、現実起こった場合の対応計画は、大丈夫かなど。

質疑した内容を、すべて列記したらキリがありませんが、とても大事な話です。質疑前の担当者との本市の取り組み確認を含めると、かなり細かくやり取りし、多くの時間を割いて本市の防災力の強化・向上につながるよう、当局に対応を求めました。**今後も、“市民の命を守る!”を最重点の施策分野として、望月は、本市の防災力の充実に努めていきます。**

## 新たな劇場整備とIR・カジノの関係は!?

新年度予算の特筆すべきことのひとつに、“**新たな劇場整備の検討費**”として、**3千万円が計上されていること**です。市長は、ここ1~2年、オペラやバレエなどの本格的舞台装置を備えた劇場整備に強い意欲を示しています。そして新年度予算で、“新たな劇場整備”を『文化芸術創造都市の中核をなすもの』として本格検討に入りました。

どういった劇場を、どこに整備するのか?財源を含め整備手法は、どうなるのか?以上の点によっては、今後の議論は、ずいぶん異なってきます。私は、市民に負担はかけず、街の賑わいや文化の創造に寄与できる施設を整備できるなら、検討の価値はあり、だと考えています。一方で、集客がままならず、ニーズも考えず市長の思いだけが先行し、市財政に大きな負担のしわ寄せが、来てはいけないと考えています。

そしてこの事業の可否を考える上で、特に市長の真意を確認しなければいけない点があります。**それは望月が一貫して反対のカジノを含むIRとの関係**です。一般にカジノ施設を含むIR〔統合型リゾート〕事業を行う場

合、なんらかの観劇設備が併設されます。また本市が、仮にカジノに名乗りを上げた場合に、有力地とされる現・山下ふ頭の再開発との問題です。担当局が描くプランでは、2020年代後半までに、臨海部の賑わい地域となるよう整備を行い、再開発後のイメージ図としてオペラハウスも掲載されています。

**“新たな劇場整備”にしても、“カジノ”の問題にしても、“山下ふ頭再開発”も、いずれも単なるひとつの事業の実施の話ではありません。**本市の臨海部のあり方、もっといえば少子高齢化・人口減少時代に突



入している**本市の市政運営の方向性の根本に関わる話**です。そこで当日の質疑では、私は、この3者の関係性に絡めて、市長の考えを問いました。それに対して、**市長は、将来にわたる持続的な成長のため、整備の必要性は強く認識とする一方で、つな**

## 中学校給食の機会を逃すな!!

本市へ寄せられる実施への要望が強い事業分野に中学校給食の実施があります。特に、中学生の保護者世代から強いニーズがあると感じています。**私は、中学校給食の実施に大賛成です。**生徒や保護者から見て、給食と言えるものを是非、提供すべきと考えています。食アレルギーの問題や保護者の考えもあるでしょうから、全員一律・強制的にとは言いませんが、**家庭井当から給食中心に転換を図るべき**と考えています。

では本市では、なぜ中学校給食を実施できないか。その大きな理由には、施設面や予算面の課題があります。現実的に考えると、ただちに市内一斉、一律で、中学校給食を実施するのは、現状では無理です。ただし、こんなことを言っていたら、いつまでたっても、本市で中学校給食は実施できません。

私は、中学校給食の実現に向かって、市内一斉、一律にこだわらず、地域や学校の実情に応じて、できる学校

**りは否定**しました。この質疑の要旨は、翌日の朝日新聞や神奈川新聞で報じられました。

劇場整備は、上述の通り、中身次第と私は考えています。ただし、それがカジノ施設の設置とつながっていくことがないよう、議員としてチェックしていきます。

から給食と言えるものを提供していくべきと考えています。実は、教育員会では、2017年度より市内の小中学校のうち、384校を約35年かけて建替えする計画に着手し始めました。この機会を逃す手はありません。学校建替えを機に、給食供給設備を増やし、方式は問わないが、順次、給食を中学校でも提供できるようにすることは、ひとつのやり方と考えてます。ですから市長にも、その考えがあるか問いました。回答は、『難しいと考えている』とのことでした。

**中学校給食の問題は、市長の政治判断と議会の後押しが重要です。**市長に、その考えを持っていただくか、その考えを持った市長を選んでいくことです。そして、実施に前向きな議員が、議会の大勢を占めることが必要です。

スペースの制約上、当日の質疑の全てをご紹介しますことができません。お時間がある方は是非、横浜市会のインターネット〈録画〉中継をご覧ください。



## tvk『～横浜市会座談会～予算市会の焦点』に出演。防災・減災対策の充実強化、カジノに頼らない賑わい作りなどの考えを表明!

第1回定例会中の2月7日(木)に、テレビ神奈川(tvk)の『～横浜市会座談会～予算市会の焦点』に、会派21名の議員を代表し出演しました。防災・減災対策の一層の充実強化や、カジノ不要の立場から、カジノに頼らない臨海部の賑わい作りの必要性など、新年度予算案に関連して、重要施策をいくつか取り上げ、予算議会に臨む考えを述べました。同番組は、市会HPからご覧いただけます。



## これからも継続していきます!!

**議員活動をお伝えし、市民の声を聞くのは、議員活動の基本!!**

市政報告会〔タウンミーティング〕、駅頭・街頭議会活動報告、市政レポートの発行や行政相談の実施。